

# 「チャレンジド・スポーツ」から学ぶ

【吉賀町立柿木小学校】

ねらい

パラリンピアンとふれあい、障がいやパラ競技への理解を深める。

いつ

令和2年10月15日(木)

どこで

吉賀町立柿木小学校 体育館

だれが

【講演】全校児童 57名

【ボッチャ体験】3・4年生 19名

※講師…藤田 英二氏

[山口県障害者スポーツ協会 会長]

なにを

- パラリンピックに関する講話
- ボッチャ体験(パラリンピック競技)

概要

- ・パラリンピック競技についての話や体験したりし、パラリンピックの理念や価値を学ぶ。そして、今後の学習につなげ、東京大会への気運醸成を図る。
- ・講演内容やパラスポーツの体験を通して相手に対する配慮や日常生活におけるユニバーサルデザインに気付くきっかけとし、福祉教育の推進につなげる。
- ・「チャレンジド(試練を克服する人たち)」の言葉の意味を知り、様々なことに挑戦する意欲を高める。



2000年のシドニーパラリンピック陸上競技に日本代表として出場した講師のお話を聞きながら真剣な表情で聞いていました。当時の映像が流れると、児童は更に講師の話に引き込まれていきました。そして、「チャレンジド(試練を克服する人たち)」という言葉の意味を知り、「最後まであきらめない気持ち」の大切さに改めて気づく機会となりました。今回の講師との出会い、ふれあい、そしてパラ競技体験を通して、児童ひとり一人に新たな気づきや学びが生まれた貴重な学習となりました。